

【県南コース】



豊かな自然、歴史、文化のふるさと
「ひがししらかわ」で

～“地域医療体験”と地域の住民と素敵な交流を～



【期日】平成27年3月11日(水)～12日(木) 1泊2日



訪問診療同行
(矢祭町にて)

研修の概要

○ 研修の趣旨

地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、福島県東白川郡における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらいます。

○ 主な研修の内容

1 地域医療現場の視察

東白川地域等の診療現場を視察します。

2 地域医療に従事する医師との懇談会

地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行います。

3 地域住民との交流

地域住民との交流を通し、地域の実情について理解を深めます。

過去の研修風景



特養老人ホーム食事介助



地域病院視察



医療従事者との懇談会

アピールポイント

- 1 東北の最南端“みちのくの玄関口”福島県南地域は首都圏から新幹線使用で約2時間です。
- 2 茨城県と栃木県に隣接する東白川郡は、豊かな自然・歴史・文化の里山(ふるさと)です。
- 3 高齢社会と過疎化が進行する地域が求める「医師の人間像」を自分の目で認識してください。

地域医療体験研修参加者の声



私は福島県出身です。将来は福島県の地域医療に貢献したいと考えています。鮫川村では、地域の皆様との交流会や健康教室を通して、多くのことを教えて頂きました。「高齢化」「遠方にある病院への通院」等、不安は尽きませんが、印象的だったのが、医療の不便さを感じつつも、皆様が「元気だった？調子はどう？」とお互いに気づかい、朗らかに笑い合う姿でした。「いいお医者様になれるよ」という言葉を頂いた時は本当に嬉しく、また健康への不安を聞きながら、私は既に医療人として頼られていると気づきました。今医師に限らず多くの若い人々は地域を離れ都会へ目を向けがちです。鮫川村の美しい自然や、祭太鼓や笛の音、地域の皆様への親しみは、都会で感じるこのとできない、地域の暖かみでした。この経験を生かし、きっと地域に貢献のできる医師になりたいと思います。

この研修に参加する前の地域医療に対するイメージは、「閉鎖的で、そこで働く医師は激務で心身ともに疲弊している」といった後ろ向きなイメージでした。訪れた金澤医院では、医師、看護師、薬剤師、看護師そして調理師が一つのチームとなり、患者さんに一番適した治療法を模索し、提供していました。これこそが究極のチーム医療の形であるのだと思います。しかし、医療機関同士で協力しあいながら、地域医療の役割を果たしてはいるものの、医療スタッフが不足しているということはまぎれもない事実です。鮫川村内は医師不在の時間帯が生じることもあり、地域住民は常に不安を抱えています。医師の数を増やすのには時間がかかります。地域の医療を充実させるためには、限られた医師の数の中で、無医村を作らないようなシステムを作り、普及させる必要があるのだと感じました。



行程表

日程	スケジュール	食事の有無	宿泊
3月11日(水)	8:30 JR福島駅西口発 9:00 福島県立医科大学発 10:30 JR新白河駅東口発 10:45~11:15 県南保健福祉事務所(オリエンテーション) 13:30~15:30 金澤医院の視察・診療訪問への同行 16:00~17:00 塙厚生病院の視察 18:00~20:30 医療従事者との懇談会・夕食会	朝(×) 昼(○) 夜(○)	矢祭町 「ユーパル矢祭」
3月12日(木)	8:40~9:40 ユーアイホームでの回診同行・見学 10:30~13:00 白河市内等見学・昼食 13:30~16:00 白河厚生総合病院の視察・臨床研修医との懇談会・参加者意見交換会 16:15 JR新白河駅東口着 17:30 福島県立医科大学着 18:00 JR福島駅西口着	朝(○) 昼(○) 夜(×)	